

研究協力をお願い

昭和大学江東豊洲病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

昭和大学江東豊洲病院における無痛分娩の取り組みと安全性の検討

1. 研究の対象および研究対象期間

2017年4月1日から2017年11月30日までに当院で無痛分娩をされた方

2. 研究目的・方法

分娩の痛みには個人差がありますが、陣痛の刺激により母体の血圧上昇、過呼吸を生じるような場合は二次的に臍帯血管の収縮、子宮胎盤血流低下をきたし、さらには間接的に胎児への酸素供給低下などの影響を起しうることがわかっています。無痛分娩は陣痛の痛みに対するストレスや恐怖感を和らげる分娩方法であり、このような母児影響を緩和することが有益とされ本邦でも関心が高まっている一方、妊産婦死亡のニュースが相次ぎ、安全性について注目されています。昭和大学江東豊洲病院では2017年4月より自己調節硬膜外麻酔（PCEA）による無痛分娩を導入しました。無痛分娩を行った妊婦について、母体の無痛分娩に対する満足度及び母体および新生児の転帰について実態を調査し、安全性について検討します。

研究期間

2018年1月17日～2018年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

患者背景（年齢、身長、体重、分娩時BMI、既往歴、家族歴、喫煙歴、アレルギー歴）、妊娠分娩情報（分娩様式、経産数、自然流産歴、分娩週数、出生時体重、分娩所要時間、産科合併症）、薬剤関連情報（麻酔薬の投与量、レスキュー回数）、血液検査情報（白血球数、赤血球数、ヘモグロビン値、ヘマトクリット値、血小板数、Dダイマー、血清アルブミン値、AST、ALT、血清クレアチニン値、BUN、CRP）

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学江東豊洲病院薬局 氏名：門馬 恵

住所：135-8577 東京都江東区豊洲 5-1-38 電話番号：03-6204-6000

研究責任者：

所属：昭和大学薬学部病院薬剤学講座 研究責任者：佐々木 忠徳